せんだい若手勉強会通信

Vol.4

インフラDX研修会に参加しました！

〇担当
大泉（3年目）
田村（3年目）
市村（1年目）
木村（1年目）

国土交通省

◆東北インフラDX人材育成センターでDX研修会に参加！　【R6.10.8】

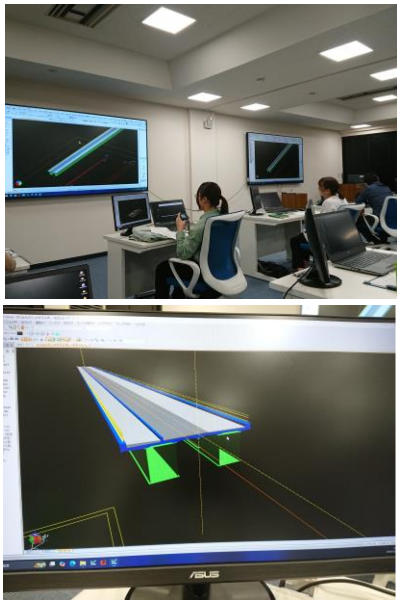
『東北インフラDX人材育成センターを訪問し、３次元点群データの作成や3次元CADの作成方法を学びました。』

➢ 研修会では、自ら撮影した写真データから3次元点群データの作成と、２次元CADの図面から３次元CADの図面作成を行った。
【写真①・②】

◎３次元点群データとは
物体形状を３次元の点の集合体で表現する技術。
物体の可視化、計測、３次元CADモデル作成に活用でき、災害時の迅速な被害規模の確認が可能となる技術として活用が見込まれる。
【写真①】

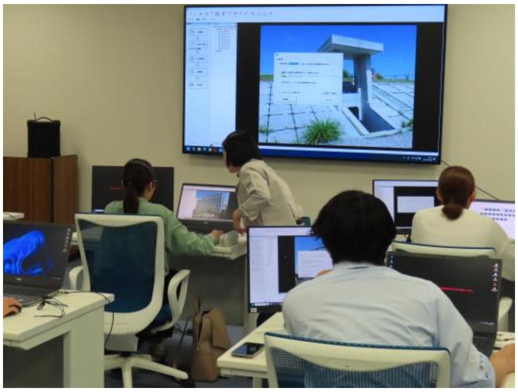
◎３次元CADとは
実態そのものを立体的に描写する技術。
誰が見ても完成イメージが把握しやすく、平面図では気づきにくい問題点を確認できる。
【写真②】

【写真①】3次元点群データの作成



【写真②】３次元CADの作成

◆ 見学した若手職員の声



CAD図面が平面から立体的になる工程（瞬間）を体験し、DXのおもしろさと重要さに気づくことができました。

最先端の技術を活用すれば、災害時や工事現場でも、自ら撮影した写真から３次元点群データを作成することができ、とても実用的だと感じました。

～ひとこと～
インフラ分野の様々な工程の効率化・高度化のため、３次元データのような最先端の技術を推進・活用していくことが大切だと感じた。今回のDX研修会を通して３次元データの作成方法・ポイントを学び、今後の活用に向けて理解を深めることができた。